

# 第31回日本神経免疫学会学術集会 モーニングセミナー2 (MS-2)

日時 2019年9月27日(金) 9:00~9:50

会場 第3会場 (幕張メッセ 国際会議場 3階)  
〒261-0023 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1

# 神経免疫学の 潮流を探る

## — 診断学から治療学、他領域連携へ

20世紀半ば以降における神経学と免疫学の発展は、両者の密接な連関を浮き彫りにし、神経免疫学隆興の端となった。20世紀後半においては、いくつかの神経難病において免疫学的な解釈モデルが構築され、神経免疫疾患の概念や診断方法の確立、さらには新たな治療戦略の開発へと繋がった。さらに最近では、治療アウトカムをより重視した診断方法へとシフトする動きも見え隠れしており、神経免疫学は診断学から治療学へとパラダイムシフトを起こそうとしている。このように発展した神経免疫学は、急速に拡大する免疫チェックポイント阻害剤 (immune checkpoint inhibitors; ICPIs) の投与に伴う神経系副作用の診断や治療など他領域連携も大きく期待されるに至った。本講演では多発性硬化症、重症筋無力症、ICPIsの神経系副作用を例に、20世紀後半から今日に至るまでの神経免疫学の潮流を俯瞰する。

座長

**中島 一郎** 先生

東北医科薬科大学 医学部 老年神経内科学教室 教授

演者

**中原 仁** 先生

慶應義塾大学 医学部 神経内科 教授

共催



コスミック コーポレーション

第31回日本神経免疫学会学術集会



株式会社 ビー・エム・エル

BML